

先着順  
定員150名  
入場無料

オープンフォーラム 2019

Open Forum 2019

# 多様性を超えて 包摂社会が生み出す 創造性

2019年(平成31年)

3月1日(金) 16:00~18:30 [15:30開場]

東京都は、東京オリンピック・パラリンピックを契機に、世界的な芸術文化都市を目指すというビジョンを掲げています。本フォーラムでは、東京が目指すべき都市像を探るため、世界の様々な都市で議論されている「多様性・包摂」をテーマとして取り上げ、包摂が生み出す創造性、そしてそれが導く未来について、多角的に考え議論する機会とします。

デジタル環境の深化によりAIやデータイズムが台頭し、国や文化、ジェンダーなど様々な分野で既存の境界線が薄まりつつあるなど、経済・社会が大きく変化する中、芸術文化の意義はどう位置付けられるのか。多様化する社会において、違いを受容し活かす土壤があることは、創造性に何をもたらすのか。異なる文化的背景と個性を持つ人々の間の交流は「独自性」や「独創性」にどのような気付きを与えるのか。2020年さらには2020年以降に繋がる、創造性溢れる国際都市としての東京の新たな可能性を探ります。

## 申込み方法

※要事前申込

専用の申込みフォームよりお申込みください。  
定員になり次第、受付終了させていただきます。  
<https://ez-entry.jp/OpenForum2019/entry/>



## プログラム(予定)

### 〔第1部：基調講演〕

中谷 巍

アーツカウンシル東京カウンシルボード委員 /  
三菱UFJリサーチ＆コンサルティング株式会社理事長

### 〔第2部：ディスカッション〕

ペーター・アンダース

ゲーテ・インスティトゥート東京所長

梶谷 真司

東京大学  
共生のための国際哲学研究センター(UTOP)所長

吉野 律

アジア・カルチャル・カウンシル(ACC)  
日本オフィスディレクター

モダレーター 芹沢 高志

P3 art and environment 統括ディレクター

※順不同・敬称略 ※日英同時通訳付き

## 会場

### 〔ベルサール東京日本橋〕

東京都中央区日本橋2-7-1  
東京日本橋タワー4F

## アクセス

「東京駅」八重洲北口徒歩6分  
「日本橋駅」(銀座線・東西線・浅草線)B6番出口直結  
「三越前駅」(銀座線・半蔵門線)B6出口徒歩3分

## スピーカープロフィール



### 中谷 嶽

〔アーツカウンシル東京カウンシルボード委員 /  
三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社理事長〕

1942年大阪生まれ。1965年一橋大学経済学部卒業。ハーバード大学経済学博士(Ph.D.)。  
現在、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社理事長、株式会社不識庵代表、日本と世界を変えるリーダー育成のための  
「不識塾」塾長。一橋大学名誉教授。主著に「『AI 資本主義』は人類を救えるか～文明史から読みとく」(NHK出版新書/2018)、  
「資本主義はなぜ自壊したのか」(集英社インターナショナル/2008)、「入門マクロ経済学」(日本評論社/2007年)など。



### ペーター・アンダース

〔ゲート・インスティトゥート東京所長〕

演劇、映画、メディア研究を専攻。90年代よりゲート・インスティトゥートに勤務。  
ミュンヘン本部の美術部門長となる。次いで、カメルーン、ブラジル(サルヴァドール)及び、ブルガリアの  
ゲート・インスティトゥート所長を歴任。2007年から2011年まで、ヨハネスブルグ(南アフリカ共和国)を  
拠点に、サハラ以南アフリカ地域を担当するゲート・インスティトゥートの文化部長となる。  
2011年5月から2016年1月まで、ゲート・インスティトゥート北京所長、及び中国支部代表。  
2016年2月よりゲート・インスティトゥート東京所長を務める。



### 梶谷 真司

〔東京大学 共生のための国際哲学研究センター(UTCP) 所長〕

1966年生まれ。京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程修了。  
現在、東京大学大学院総合文化研究科教授。専門は哲学、比較文化、医学史。  
主著は『シュミツツ現象学の根本問題——身体と感情からの思索』(京都大学学術出版会2002年)、  
および『考えるとはどういうことか——0歳から100歳までの哲学入門』(幻冬舎2018年)。  
最近は「哲学対話」のプロジェクトを推進。



### 吉野 律

〔アジアン・カルチャラル・カウンシル(ACC) 日本オフィス ディレクター〕

1999年~2005年 金沢21世紀美術館学芸アシスタント。  
2005年~2009年 公益財団法人三宅一生デザイン文化財団にて「21\_21 DESIGN SIGHT」展覧会コーディネーター。  
2009年9月よりアジアン・カルチャラル・カウンシル(ACC)、現在、同日本オフィスディレクター。

## モデレータープロフィール



### 芹沢 高志

〔P3 art and environment 統括ディレクター〕

1951年東京生まれ。神戸大学理学部数学科、横浜国立大学工学部建築学科を卒業後、  
(株)リジオナル・プランニング・チームで生態学的土地利用計画の研究に従事。  
89年にP3 art and environmentを開設。とかち国際現代アート展「デメーテル」総合ディレクター  
(2002年)、アサヒ・アート・フェスティバル事務局長(2003年~2016年)、  
横浜トリエンナーレ2005キュレーター、別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」総合ディレクター  
(2009年、2012年、2015年)、さいたまトリエンナーレ2016ディレクター(2016年)を歴任。

## 【お問合せ先】オープンフォーラム2019運営事務局

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-3-5 NBF渋谷イースト(株式会社フロンティニアインターナショナル内)  
【TEL】03-4572-2965 【Email】info@openforum2019.jp 【受付時間】平日 9:30~17:30(土日祝休)

【主催】アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)